

県内市町村の中学校昼食の状況について

1. 前回検討時（平成24年度）以降の他市町の動き

- ・藤沢市→平成26年度より家庭弁当との選択制デリバリー弁当を実施（19校中9校）
残りの10校についても順次開始予定。
- ・大磯町→平成28年1月より全中学校にて全生徒対象のデリバリー弁当を実施
- ・横須賀市→平成28年7月、全中学校にて完全給食を実施する方針を市として決定
- ・横浜市→平成29年3月までに全中学校にて「ハマ弁」と呼ばれる弁当販売方式を実施
（家庭弁当と併用）
- ・座間市→平成29年9月までに全中学校にて家庭弁当との選択制デリバリー弁当を実施予定
- ・鎌倉市→平成29年11月より全中学校にて家庭弁当との選択制デリバリー弁当を実施予定
- ・川崎市→平成29年12月までに全中学校にて完全給食を実施予定
- ・葉山町→平成31年9月より全中学校にて完全給食を実施予定

2. 昼食の方式

	方 式	実施市町村
①単独校での調理	小学校と同様の給食 【完全給食】 全員が喫食	南足柄市、山北町、 開成町、松田町、 箱根町
②共同調理場での調理	主食・主菜・副菜を食缶に入れてクラスで配膳 	小田原市、厚木市、 大和市、三浦市、 綾瀬市、二宮町、 中井町、大井町、 清川村、川崎市（予 定）、横須賀市（予 定） 葉山町（予定）
③デリバリー弁当（全生徒対象）	弁当箱に詰めた給食 【デリバリー弁当方式】	逗子市、大磯町
④デリバリー弁当 （家庭弁当との選択）	主食・主菜・副菜の献立を市が作り、委託業者が調理し たものを弁当箱に詰め学校へ配送 	相模原市、海老名市、 愛川町、 藤沢市（予定）、 座間市（予定） 鎌倉市（予定）
⑤業者弁当販売	業者が調理した弁当を購入できる 【業者弁当販売方式】 希望者だけが、販売される弁当を購入する 	平塚市、横浜市、 茅ヶ崎市、秦野市 伊勢原市、寒川町 真鶴町、湯河原町

3. 昼食方式によるメリット、デメリット

	メリット	デメリット
①単独校での調理	(1) 栄養バランスの良い食事が提供できる (2) 配送ない分、直近で調理できるため、適温給食や食中毒危険が軽減	(1) 経費面がかかる *給食施設整備費 *学校側配膳室(調理室)、ダムウォーターの設備費 *日々に給食管理運営費
②共同調理場での調理	(1) 栄養バランスの良い食事が提供できる (2) 大量調理のためのコストダウン	
③デリバリー弁当 (全生徒対象)	(1) 配膳時間がかからない (2) 栄養バランスのよい食事が提供できる	(1) 嫌いなおかずが出た場合、残食が増える
④デリバリー弁当 (家庭弁当との選択)		(1) 当日注文できず忘れた時は買えない
⑤業者弁当販売	(1) お弁当の持参状況等で家庭環境の把握ができる (2) 家庭から持参できない場合は、購入できて、弁当を食べられないということがない	(1) 保護者からの要望に対応できない

参考) 都道府県別中学校完全給食実施率 (2015年度)

順位	都道府県名	完全給食実施率
1	千葉県	100.0%
1	香川県	100.0%
3	埼玉県	99.5%
3	岐阜県	99.5%
3	愛知県	99.5%
6	山口県	99.4%
7	沖縄県	99.3%
8	愛媛県	99.2%
16	東京都	98.1%
35	福岡県	91.2%
36	岩手県	87.4%
37	奈良県	78.8%
38	和歌山県	78.6%
39	三重県	74.7%
39	佐賀県	74.7%
41	京都府	71.8%
41	広島県	71.8%
43	大阪府	69.0%
44	滋賀県	65.7%
45	兵庫県	65.1%
46	高知県	61.7%
47	神奈川県	25.7%